

第3・4学年国語科学習指導案

日時 平成20年10月10日(金)5校時
場所 3・4年教室
児童 3年生 男子3名 女子2名 計5名
4年生 男子1名 女子1名 計2名
指導者 伊藤千秋

《3年生》

1 単元名 進んで話し合い、発表しよう
「分類」ということ (光村図書 上)

2 単元設定の理由

(1) 児童について

児童は、2年生までに、身近な話題に興味をもち事柄の順序を考えながら話したり聞いたりする活動をしてきた。3年生になり、1学期教材「道案内をしよう」では、事柄を順序立てて分かりやすく話すことを学習してきた。

3年生は、発表する力を育成するために、毎月の音読発表、メモを使った日記発表、行事の感想発表などを行っている。また、自分たちだけで学習を進めることができるように学習リーダーの活用をしているが、互いに妥協しやすく、厳しい態度の育成が難しいため、活発な討議が展開されにくい傾向がある。

(2) 単元について

学習指導要領における第3学年及び第4学年の「話すこと・聞くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。」である。

本単元では、「分類」という資料をもとに、普段の日常生活の中で、無意識的に行っている行為をあらためて意識させ、実際にどんな場面で「分類」がなされているかを調べ発表する活動を展開する教材である。資料『分類』を読むことによって「分類」することの意味や意義を学び取り、さらに、観点に沿って、自分で調べたものについて話を組み立て発表することは、3年生段階の理論的思考力(筋道を立てて考えたり話したりする力)の育成につながるものと考えられる。また、情報収集力を育てるために、図書資料だけでなく、インタビューの仕方や調べたことの整理の仕方を学ぶことで、今後のさまざまな学習に生かせるようにさせたい。

(3) 指導にあたって

学習活動は、大きく三つに分けられている。まず一つ目は、猫をどのように分類したかを話し合うことである。この学習では「分類」という思考活動を通して、分類にはいろいろな方法があることについて考えたり、発表したりさせるように

《4年生》

1 単元名 調べて発表しよう
「伝え合う」ということ (光村図書 上)

2 単元設定の理由

(1) 児童について

児童は、3年生までに、事柄の順序を考えながら話したり聞いたりする活動をしてきた。4年生になり、1学期教材「伝言はまちがえずに」では、大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることを学習してきた。

4年生は、発表する力を育成するために、毎月の音読発表、メモを使った日記発表、行事の感想発表、新聞発表などを行っている。また、視聴覚機器を利用し、発表の様子を振り返るようにしているが、相互交流の相手が限定されているため、学習経験での広がりや深まりが乏しい傾向がある。

(2) 単元について

学習指導要領における第3学年及び第4学年の「話すこと・聞くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。」である。

本単元では、「手と心で読む」という資料をもとに、いろいろな障害をもった人たちが、生活するうえで困っていることを課題にし、それに答える形で、興味をもった伝達の方法について調べ、発表して伝え合う活動を展開する教材である。この活動を通して、点字、手話、といったそれぞれの伝達手段について理解するだけでなく、伝え合いについての考えを広げたり深めたりするようにしたい。また、発表内容には、音声言語だけでは伝えにくい事実が多く含まれていると考えられるので、実物やフリップなどを使いながら、分かりやすく表現することができるようにさせたい。

(3) 指導にあたって

学習活動は、大きく三つに分けられている。まず一つ目は、「手と心で読む」を通読し、自分たちの言語生活を振り返ることである。この学習では、よりたくさんの人と伝え合う方法をあげ、それぞれの方法について知っていること、調べてみたい

したい。

二つ目は、身の回りで分類されているものを探し出し、自分の課題を決めたり、調べ方やまとめ方を学んだり、調査したことをまとめたりして発表練習することである。ここでは、取材メモを使って完成させた発表原稿をよりよいものにするため、教科リーダーが中心となって発表内容を聞き合い、原稿の修正ができるように相互評価させていきたい。

三つ目は、調べたことを発表することである。ここでは、アドバイスカードを使いながら、調べたことを順序立てて話したり、観点に沿って聞いたりさせるようにしたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○分類することの意味に興味をもち、分類されているものを調べようとする。

(2) 話す・聞く能力

◎分類されているものを見つけ、分類の仕方やその意味について、聞き手によく分かるように筋道を立てて話すことができる。(ア)

○話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめることができる。(イ)

○猫の分類について、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、話し合うことができる。(ウ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

◎その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。(ア)

○相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話すことができる。(カ)

4 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

・分類に興味をもち、進んで分類しようとしたり、友だちの分類の仕方を聞こうとしたりしている。

・自分の調べたいことを決めて、発表する材料を進んで探したり、友だちの発表を聞いて、感想をもったりしようとしている。

(2) 話す・聞く能力

・猫の分け方を説明したり、友だちの分け方を自分のと比べて聞いたりして話し合っている。

・話す事柄を整理し、順序立てて、発表している。

(3) 言語についての知識・理解・技能

・場や聞く人の人数に応じ、音量や速さを考えて、発表にふさわしい言葉遣いで話している。

ことについて考えたり、発表したりさせるようにしたい。

二つ目は、自分で決めた課題に沿って資料を調べたり、調べたことを記録したり、分かったことを整理したりすることである。ここでは、発表原稿をもとにして作ったスピーチメモを使って、上手にスピーチができるように、相互評価をさせていきたい。

三つ目は、調べた成果を発表することである。ここでは、聞き手を意識して話したり、中心に気を付けて聞いたりさせながら、伝え合うということについて自分なりの考えをもたせるようにしたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○伝え合い、分かり合うためには、いろいろな方法があることに気づき、しらべたりまとめたりしたものを聞き手に分かりやすく伝えようとする。また、話の中心に気をつけて、話したり聞いたりしようとする。

(2) 話す・聞く能力

◎クラスの友だちに自分の考えが分かるように筋道を立てて話すことができる。(ア)

◎話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめることができる。(イ)

○友だちの発表と自分が調べたことや考えたことを比べて、感想を発表することができる。(ウ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

◎グループ内、クラス内など状況に応じて適切な音量や速さで話すことができる。(ア)

○相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話すことができる。(カ)

4 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

・「手と心で読む」を読んで、もっと調べてみたいと思うことを書いたり、伝え合い、分かり合うための工夫について調べる計画を立てたりしようとしている。

・感想を交流し合い、「伝え合う」ということについて自分の考えをまとめようとしている。

(2) 話す・聞く能力

・伝えたい中心をはっきりさせて、「初め・中・終わり」の簡単な組み立てで原稿を書いている。

・友だちの発表を、話の中心に気をつけて聞き、感想をもっている。

(3) 言語への知識・理解・技能

・相手やその場の状況に応じた適切な言葉遣いで話している。

5 指導計画

《3年生》(全13時間 ○印一本時)

次	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
第1次	1	○猫の挿絵を見ていくつかの特徴に気づきグループに分ける。	・進んで猫の絵を分類しようとしている。	・何についての話し合いがなされ、どのような分類が発表されたか聞き取っている。	・新出漢字を正しく読み、語句の意味を理解している。
	2	○「話し合いで大切なこと」を学習し猫の分け方について実際に話し合う。	・「話し合いで大切なこと」を理解しようとしている。	・友達の見解と比べた話し合い方が、大切であることを理解している。	・話し合いという状況に応じた音量や速さで話し合っている。
	3	○話し合ったことをまとめて発表し、話し合いを振り返る。	・まとめた意見を聞き、自分の考えを伝えようとしている。	・相手のまとめた意見を聞き、自分の考えを深めている。	・メモを取りながら、話していること聞き取っている。
	4	○資料の「分類」を読み、分類することの意味と、いろいろな分類の仕方があることを知る。	・教科書を読んで、大事だと思ったところや初めて知ったことを聞き取ろうとしている。	・大事だと思ったところや初めて知ったことをまとめている。	・話し合いという状況に応じた音量や速さで話している。
	5	○「分類」について想起し、再度猫の分類を見直し話し合う。	・自分の分類を見直し、話し合うことで、自分の考えを深めようとしている。	・話し合うことで、自分の考えを深め、新たな視点でも自分の考えを発表している。	・話し合いという状況に応じた音量や速さで話している。
第2次	6	○調べたいことをいくつか考え、インタビューの仕方を知る。	・インタビューで大切な点について進んで考えようとしている。	・挨拶や順序よく尋ねること、聞き返すことなど、大切なことを理解している。	・インタビューをする相手に応じて、丁寧な言葉で話すことを理解している。
	7	○調査計画を立てて、発表までの見通しを立てる。	・ワークシートを利用して進んで考えようとしている。	・調べたいテーマとその調査方法を考え、発表までの見通しを立てている。	・文字を正しく表記しながら、計画を立てている。
	8 9	○発表の材料を集める。	・発表する材料を進んで探そうとしている。	・自分なりに考えて、発表の材料を探している。	・相手に応じた言葉を使って、インタビューしている。
	10	○観点を決め、調べたことをまとめる。	・分類についての題材を自分からまとめようとしている。	・発表の題材について、自分の考えをまとめている。	・自分の考えが、相手に伝わるように話している。
第3次	⑪	○発表内容の組み立てを考え、順序を意識しながら原稿を書く。	・順序を意識しながら、進んで発表原稿を考えている。	・話したり、聞いたりしながら、発表原稿の修正をしている。	・発表にふさわしい言葉遣いを考えている。
	12	○発表練習をする。	・全体によく伝わるように発表しようとしている。	・発表の留意点に気をつけ、発表する練習をしている。	・全体での発表という状況に応じた音量や速さを意識している。
	13	○「分類」発表会を聞き、学習のまとめをする。	・友達の分類との共通点や相違点に気をつけながら発表しようとしている。	・友達の分類との共通点や相違点に気をつけながら発表しようとしている。	・発表という場に応じた音量や速さで発表している。

《4年生》(全13時間 ○印一本時)

次	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
第1次	1	○単元名から単元のねらいをつかみ、見通しをもつ。 ○「手と心で読む」全文を通読し、初発の感想を交流する。	・発表会を開くまでの取り組みの内容と手順を確認して計画を立てようとしている。	・学習のねらいを知り、取り組みの内容と順番を確認して計画を立てている。	・漢字や語句について理解している。
	2	○「手と心で読む」の内容を読み取り、自分がもっと調べてみたいことを考える。	・点字に興味をもって、説明や筆者の考えを読み取ろうとしている。	・点字についての説明や筆者の考えを正しく読み取っている。	・表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。
	3	○自分が調べたいことを決め、調べる内容・方法について話し合う。	・調べたい内容や方法を話し合おうとしている。	・資料を参考に、自分がもっと知りたいことや確かめたいことを明らかにしている。	・表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。
第2次	3 6	○自分の課題について、学習計画を立て、調べ学習を行なう。	・発表会を開くまでの取り組みの内容と順序を確認して計画を立て、調べようとしている。	・調べる内容や方法が適切か話し合っている。 ・自分の課題に沿って、必要な資料を集めたり、分からないことを調べたりしている。	・適切な速さや音量で話し合っている。
	7	○知らせたい中心を決め、前時までに書いたカードを整理したり話す順番に並べ替えたりする。	・組み立てを考えて取材メモを作ろうとしている。	・一番知らせたいことを選び、話の始めと結びを考えて、組み立てメモを作っている。	・文章全体がどのように組み立てられているか理解している。
	8 9	○調べて分かったことをもとに発表原稿を作る。	・聞き手に分かりやすい発表になっているか確かめようとしている。	・伝えたいことや自分の考えが聞き手に伝わるように発表原稿を作っている。	・その場に応じた適切な音量や速さで話している。
	10	○発表用の資料を作る。	・伝えたいことに合った資料を作ろうとしている。	・発表をより分かりやすくするための資料を作っている。	・資料の有効性について理解している。
	⑪	○発表原稿をもとに、スピーチメモを作る。 ○スピーチメモを使って、スピーチ練習をする。	・聞き手を意識しながら、進んで発表原稿をもとに、スピーチメモを作ろうとしている。 ・意欲的にスピーチ練習を行おうとしている。	・知らせたいことが確実に伝わるようにスピーチメモを作っている。 ・相手や目的に応じた声の大きさや速さを考えながら発表している。	・スピーチメモの作り方を理解している。 ・発表場所を考えながら適切な音量や速さで話している。
第3次	12	○調べたことの「発表会」のやり方を知る。 ○聞き取りメモの工夫について話し合う。 ○実際にメモを取りながら練習する。	・発表会を開く準備の内容を知り、聞き取りメモを作ろうとしている。	・どのような聞き取りメモが必要か話し合っている。	・相手や目的に応じた適切な音量や速さで話している。
	13	○調べたことの「発表会」をする。 ○伝え合うことについて、自分の感想や考えをまとめる。	・調べてまとめたことを発表したり、感想や気づいたことを話し合ったりしようとしている。	・聞き手に分かりやすい発表をしたり、大事なことを聞き取りメモに書いたりしながら感想や気づいたことを話し合っている。	・相手や目的に応じた適切な音量や速さで話している。

6 本時の学習

《3年生》

(1) 本時の目標

○整理した事柄を順序立てて発表原稿に書くことができる。

(2) 具体の評価規準

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童への支援 (C)
整理した事柄を相手が分かりやすいように工夫して、順序立てて発表内容を考え、発表原稿を書いている。	話す事柄を整理し、順序立てて、発表原稿を書いている。	どんなことを書いたらよいのか具体的なアドバイスをしながら、発表内容をまとめたり、発表原稿を書かせたりさせる。

(3) 仮説にかかわって

仮説2にかかわって、一人学びの場面では発表例をもとに、「初め・中・終わり」の順序を意識させながら、発表マニュアルに沿って分類したことを発表原稿に書かせる作業をさせる。また、学び合いの場面では取材メモをもとにして書いた発表原稿をよりよい発表内容にできるように、教科リーダーが中心になってお互いに発表原稿を聞き合い、付け足しや見直したいところをアドバイスする力や、よりよい発表原稿になるように修正させる力をつけていくために、相互評価をさせていく。

《4年生》

(1) 本時の目標

○順序を意識しながら作ったスピーチメモを使って、スピーチ練習をすることができる。

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童への支援 (C)
相手や目的に応じた適切な声の大きさや速さを考えながら、伝えたいことや自分の考えたことが聞き手に伝わるようにスピーチしようとしている。	相手や目的に応じた声の大きさや速さを考えながら、スピーチしている。	声の大きさや速さを意識させながら、言葉のまとまり、区切り方などに気をつけさせるようにアドバイスをする。

(2) 具体の評価規準

(3) 仮説にかかわって

仮説2にかかわって、一人学びのスピーチメモを作る場面では、3つの形式を提示しその中から自分にあったメモの取り方を決め、スピーチメモを完成させる。その作業が終わったならば、見本となるモデルスピーチから話すときの観点を確かめさせ、モデルスピーチのように発表できるようにスピーチ練習をさせる。スピーチ練習では、何回かモデルスピーチを見直したり、大事な観点を確認させたりする。学び合いの場面では、お互いにスピーチを聞き合い、モデルスピーチのような発表ができるように相互評価をさせていく。

(4) 展開

段階	3年		形態	4年		段階
	○指導上の留意点 (評価) ●支援	学習活動		学習活動	○指導上の留意点 (評価) ●支援	
課題把握 5分	○調査メモを使って、発表原稿作りであることを確認させる。	1 学習課題を知る。		1 学習課題を知る。	○スピーチするときに役立つようなメモ作りとスピーチ練習であることを確認させる。	課題把握 5分
課題追求 30分	○発表例を聞かせ、話すときの観点や文を組み立てるときのポイントを理解させ、分類についての原稿を書かせる。 (関)順序を意識しながら、進んで原稿を書いている。 ●早く書き終わった児童には、読み直しをさせ、感想をふくらますように支援する。	2 原稿を書く。 ○順序に従って、発表原稿を書く。 【一人学び】		2 スピーチメモを作る。 ○順序を意識しながらメモを書く。 【一人学び】	○発表で使うスピーチメモを自分に合った形式で作らせる。 (関)進んでスピーチメモを作ろうとしている。	課題追求 30分
	○教科リーダーが中心となって、発表原稿の修正ができたかどうか、「アドバイスカード」を使って確かめさせる。 ●友だちからのアドバイスをもとに、自分の発表原稿のできばえを振り返るように助言する。 (話)話すときに大事なことを考えて話している。 (聞)アドバイスされたことを発表原稿に生かして書いている。	3 発表内容を聞き合う。 ○アドバイスカードをもとに、相互評価をする。 【学び合い】		3 モデルスピーチを提示する。 4 スピーチ練習をする。 ○メモを利用して、スピーチ練習をする。 【一人学び】	○話すときの観点を確認させる。 ○モデルスピーチを目標にスピーチ練習をさせる。 (話)聞き手の方を向き、声の大きさや速さに気をつけて話している。	
	○修正したところをどのように付け足したり、見直したりしたか発表させる。	4 発表原稿を完成する。		5 ビデオを使ってお互いの発表を聞き合う。 ○スピーチを聞き合い、相互評価をする。 【学び合い】	○聞くときの観点を意識させ、モデルスピーチのような話し方をしているかどうかを、お互いに確かめさせる。 ●アドバイスカードを交換し、自分のスピーチを振り返るよう助言する。 (聞)発表を聞いて、声の大きさや話し方についてアドバイスしている。	
				6 発表する。	○練習の成果が表れるようにスピーチさせる。	
まとめ 10分	○評価を記入し、発表させる。	5 まとめをする。 6 次時の学習内容の確認をする。		7 まとめをする。 8 次時の学習内容の確認をする。	○評価を記入し、発表させる。	まとめ 10分